

社会に受け入れられる企業とは

# 企業と社会の関係を考える

今年度のISO NETWORKでは、ISOマネジメントシステム及びJQAの今後の審査のあり方を考える特集を、4回シリーズで展開しています。第3回は、「社会財としてのISO審査登録制度のあり方」を考えるために、マネジメントシステム規格から少し離れ、企業と社会、ステイクホルダーの関係について取り上げます。

企業に対する社会やステイクホルダーの要求が多様化する中で、最近では品質管理や環境経営ばかりでなく、人権問題、コンプライアンス、コーポレート・ガバナンスなど、従来よりもさらに踏み込んだ取り組みをしている企業が増えています。

そこで、特集第一部では、企業の社会的責任（CSR）に関する研究の第一人者である一橋大学大学院商学研究科の谷本寛治教授に「企業を取り巻く環境変化と企業のあり方」についてインタビュー、第二部では、日本経済団体連合会と経済同友会に産業界の動向を取材。さらに第三部では、社会との関係を重視し、積極的な活動を推進している株式会社アシックス、株式会社滋賀銀行、富士フイルム株式会社、株式会社三越にお話を伺いました。

## 【特集第一部】

社会、経済が持続的な発展を果たすために  
今、求められる『企業の社会的責任』とは

一橋大学大学院商学研究科教授  
谷本寛治氏インタビュー

## 【特集第二部】

日本経団連、経済同友会に聞く  
日本企業の社会的責任への取り組み

## 【特集第三部】

企業の実践事例